BEST GOALS専用ポートフォリオ

レベル1（安定）／レベル2（やや安定）／レベル3（バランス）／レベル4（やや積極）／レベル5（積極）

追加型投信／内外／資産複合　　基 準 日 ： 2026年10月30日

「レベル1（安定）」の運用状況

信託期間 ： 2026年4月30日 から 無期限
決算日 ： 毎年11月30日（休業日の場合翌営業日）　　回次コード ： 5162

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

≪基準価額・純資産の推移≫

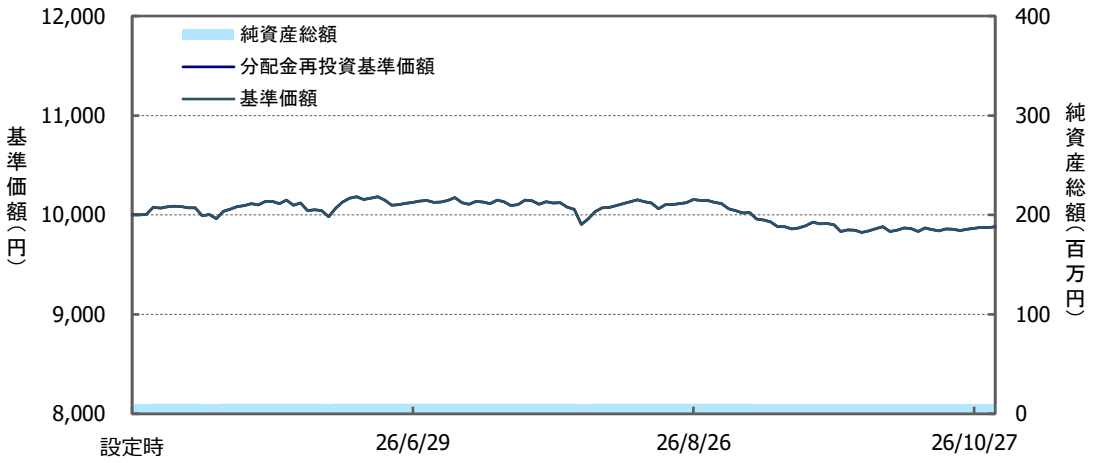
2026年10月30日現在

基準価額	9,881 円
純資産総額	9百万円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+0.3 %
3カ月間	-1.7 %
6カ月間	-1.2 %
1年間	-----
3年間	-----
5年間	-----
10年間	-----
設定来	-1.2 %

当初設定日（2026年4月30日）～2026年10月30日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

≪分配の推移≫

（1万口当たり、税引前）

決算期（年/月）	分配金

初回決算期が到来していないため、分配金は記載していません。

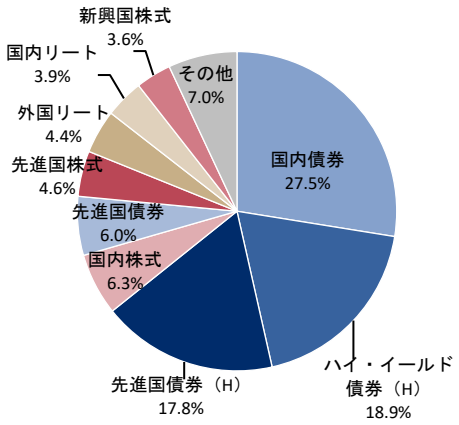
分配金合計額

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

≪主要な資産の状況≫

※比率は、純資産総額に対するものです。

マザーファンド別構成　合計99.9%



通貨別構成　合計100.0%

通貨	比率
日本円	79.0%
米ドル	15.8%
ユーロ	2.2%
オフショア人民元	0.8%
英ポンド	0.7%
豪ドル	0.4%
カナダ・ドル	0.3%
シンガポール・ドル	0.2%
韓国ウォン	0.1%
その他	0.5%

※各マザーファンドの資産クラスを表示しています。
※（H）は、為替ヘッジありを指します。オルタナティブ資産は、ゴールドインデックス（為替ヘッジなし）マザーファンドを指します。
※詳細については、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

設定・運用：大和アセットマネジメント Daiwa Asset Management
商号等　大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第352号
加入協会　一般社団法人資産運用業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

「レベル2（やや安定）」の運用状況

信託期間　：2026年4月30日　から　無期限
決算日　　：毎年11月30日（休業日の場合翌営業日）

回次コード　：　5163

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

≪基準価額・純資産の推移≫

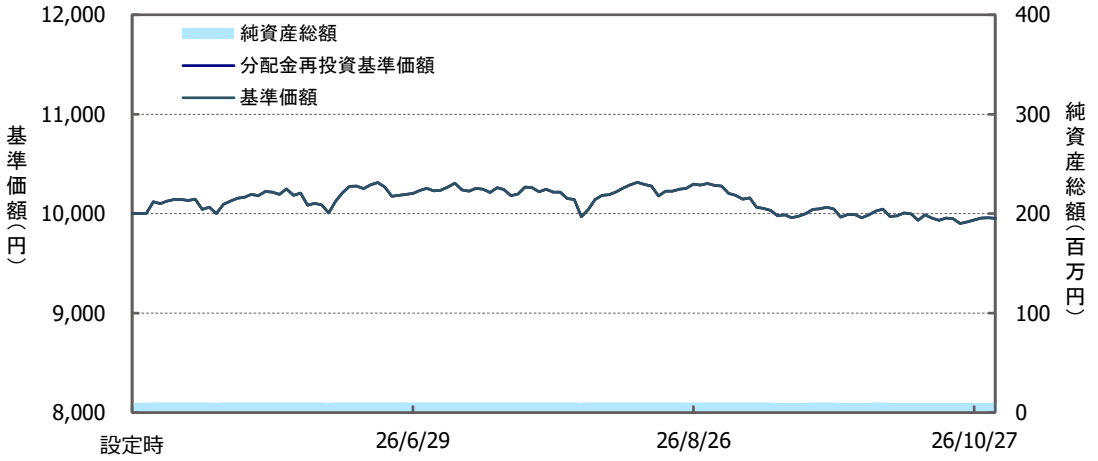
2026年10月30日現在

基準価額	9,951 円
純資産総額	9百万円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-0.4 %
3カ月間	-1.9 %
6カ月間	-0.5 %
1年間	-----
3年間	-----
5年間	-----
10年間	-----
設定来	-0.5 %

当初設定日（2026年4月30日）～2026年10月30日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

≪分配の推移≫

（1万口当たり、税引前）

決算期（年/月）	分配金

初回決算期が到来していないため、分配金は記載していません。

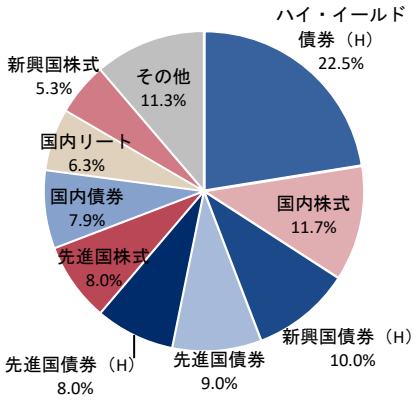
分配金合計額

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

≪主要な資産の状況≫

※比率は、純資産総額に対するものです。

マザーファンド別構成　合計99.9%



通貨別構成　合計100.0%

通貨	比率
日本円	68.9%
米ドル	23.4%
ユーロ	3.3%
オフショア人民元	1.2%
英ポンド	1.0%
豪ドル	0.6%
カナダ・ドル	0.5%
韓国ウォン	0.2%
シンガポール・ドル	0.2%
その他	0.7%

※各マザーファンドの資産クラスを表示しています。
※（H）は、為替ヘッジありを指します。オルタナティブ資産は、ゴールドインデックス（為替ヘッジなし）マザーファンドを指します。
※詳細については、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

「レベル3（バランス）」の運用状況

信託期間　：2026年4月30日　から　無期限
決算日　　：毎年11月30日（休業日の場合翌営業日）
回次コード　：5164

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

≪基準価額・純資産の推移≫

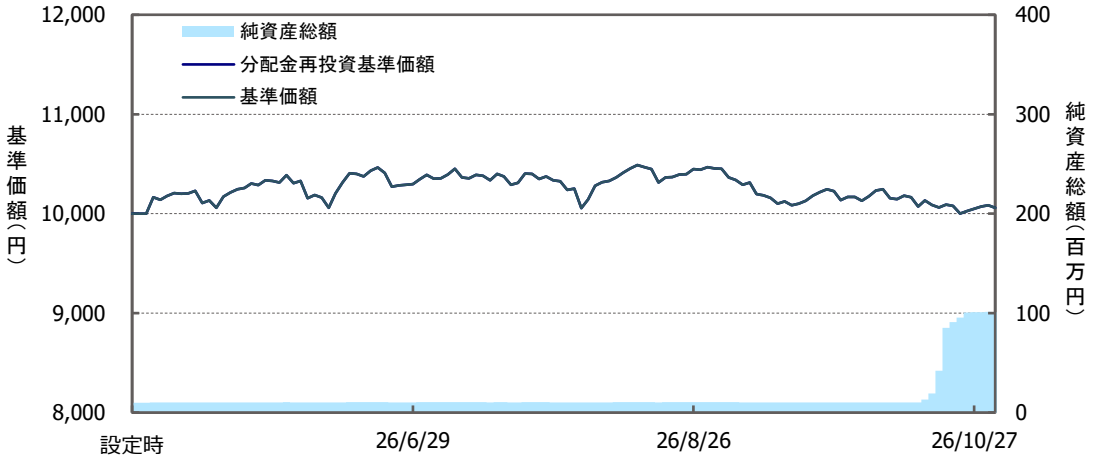
2026年10月30日現在

基準価額	10,060 円
純資産総額	100百万円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-1.1 %
3カ月間	-1.9 %
6カ月間	+0.6 %
1年間	-----
3年間	-----
5年間	-----
10年間	-----
設定来	+0.6 %

当初設定日（2026年4月30日）～2026年10月30日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

≪分配の推移≫

（1万口当たり、税引前）

決算期（年/月）	分配金

初回決算期が到来していないため、分配金は記載していません。

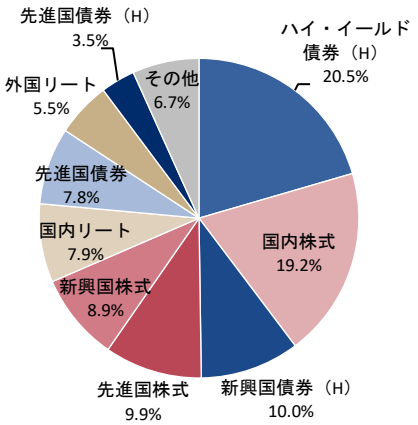
分配金合計額

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

≪主要な資産の状況≫

※比率は、純資産総額に対するものです。

マザーファンド別構成　合計99.9%



通貨別構成　合計100.0%

通貨	比率
日本円	65.0%
米ドル	27.4%
ユーロ	3.1%
オフショア人民元	1.0%
英ポンド	1.0%
豪ドル	0.6%
カナダ・ドル	0.6%
スイス・フラン	0.2%
シンガポール・ドル	0.2%
その他	0.7%

※各マザーファンドの資産クラスを表示しています。
※（H）は、為替ヘッジありを指します。オルタナティブ資産は、ゴールドインデックス（為替ヘッジなし）マザーファンドを指します。
※詳細については、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

「レベル4（やや積極）」の運用状況

信託期間　：2026年4月30日　から　無期限
決算日　　：毎年11月30日（休業日の場合翌営業日）　　回次コード　：　5165

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

≪基準価額・純資産の推移≫

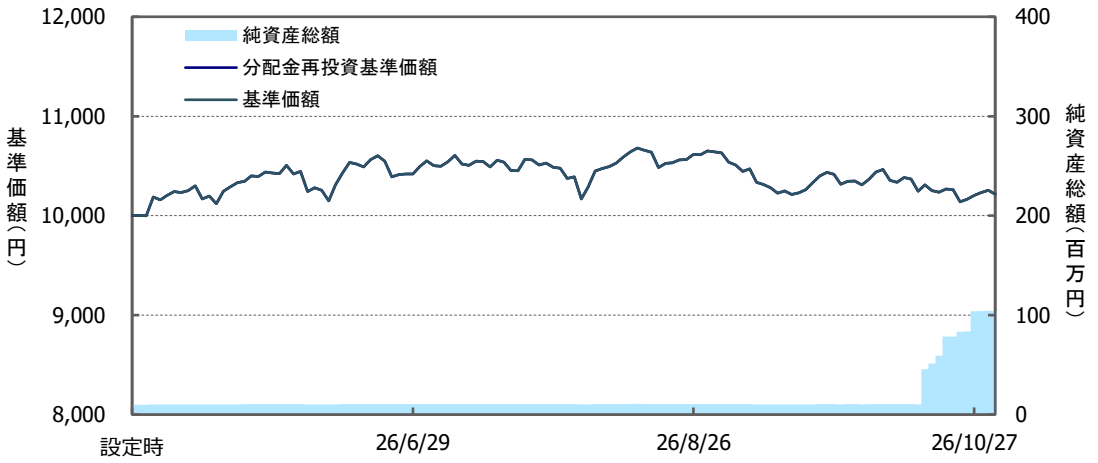
2026年10月30日現在

基準価額	10,215 円
純資産総額	104百万円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-1.2 %
3カ月間	-1.7 %
6カ月間	+2.2 %
1年間	-----
3年間	-----
5年間	-----
10年間	-----
設定来	+2.2 %

当初設定日（2026年4月30日）～2026年10月30日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

≪分配の推移≫

（1万口当たり、税引前）

決算期（年/月）	分配金

初回決算期が到来していないため、分配金は記載していません。

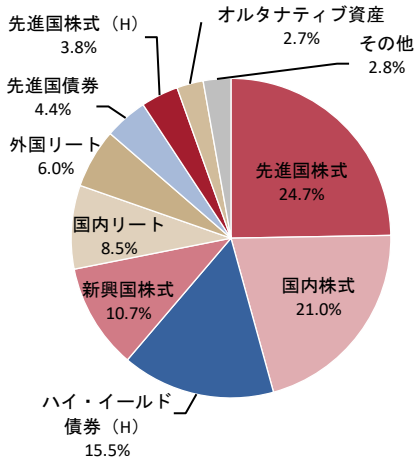
分配金合計額

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

≪主要な資産の状況≫

※比率は、純資産総額に対するものです。

マザーファンド別構成　合計99.9%



※各マザーファンドの資産クラスを表示しています。
※（H）は、為替ヘッジありを指します。オルタナティブ資産は、ゴールドインデックス（為替ヘッジなし）マザーファンドを指します。
※詳細については、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

通貨別構成　合計100.0%

通貨	比率
日本円	51.4%
米ドル	39.5%
ユーロ	3.5%
英ポンド	1.4%
カナダ・ドル	1.1%
豪ドル	0.8%
スイス・フラン	0.6%
オフショア人民元	0.6%
シンガポール・ドル	0.3%
その他	0.9%

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

「レベル5（積極）」の運用状況

信託期間　：2026年4月30日　から　無期限
決算日　　：毎年11月30日（休業日の場合翌営業日）　　回次コード　：　5166

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

≪基準価額・純資産の推移≫

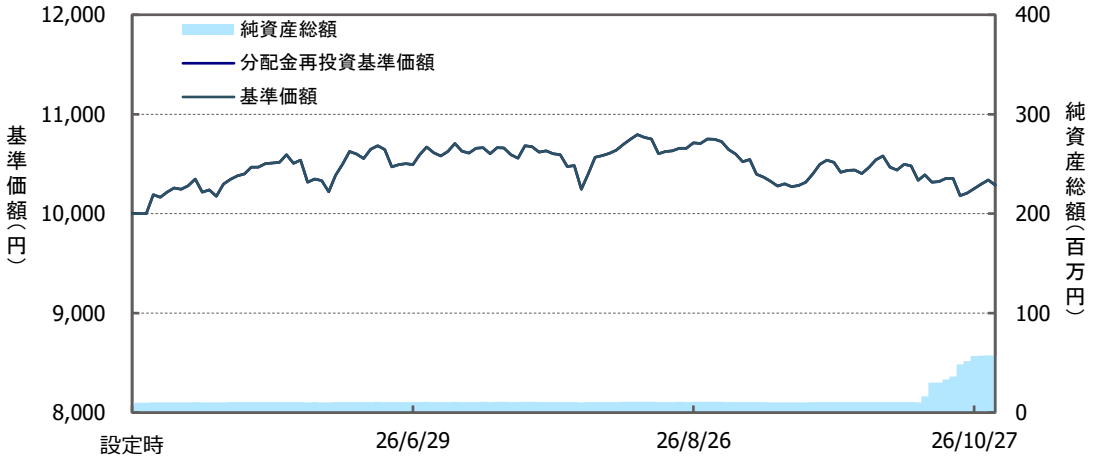
2026年10月30日現在

基準価額	10,288 円
純資産総額	57百万円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-1.4 %
3カ月間	-1.9 %
6カ月間	+2.9 %
1年間	-----
3年間	-----
5年間	-----
10年間	-----
設定来	+2.9 %

当初設定日（2026年4月30日）～2026年10月30日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

≪分配の推移≫

（1万口当たり、税引前）

決算期（年/月）	分配金

初回決算期が到来していないため、分配金は記載していません。

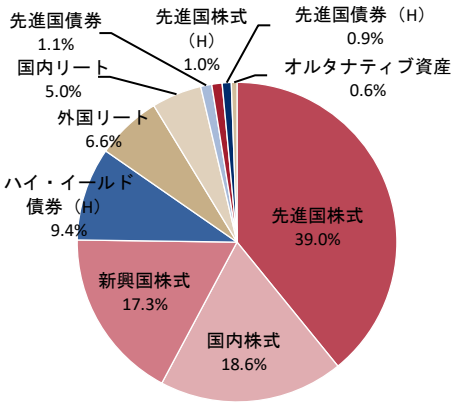
分配金合計額

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

≪主要な資産の状況≫

※比率は、純資産総額に対するものです。

マザーファンド別構成　合計99.6%



通貨別構成　合計100.0%

通貨	比率
米ドル	54.2%
日本円	35.3%
ユーロ	3.8%
英ポンド	1.7%
カナダ・ドル	1.5%
豪ドル	1.1%
スイス・フラン	0.9%
シンガポール・ドル	0.4%
スウェーデン・クローネ	0.3%
その他	0.8%

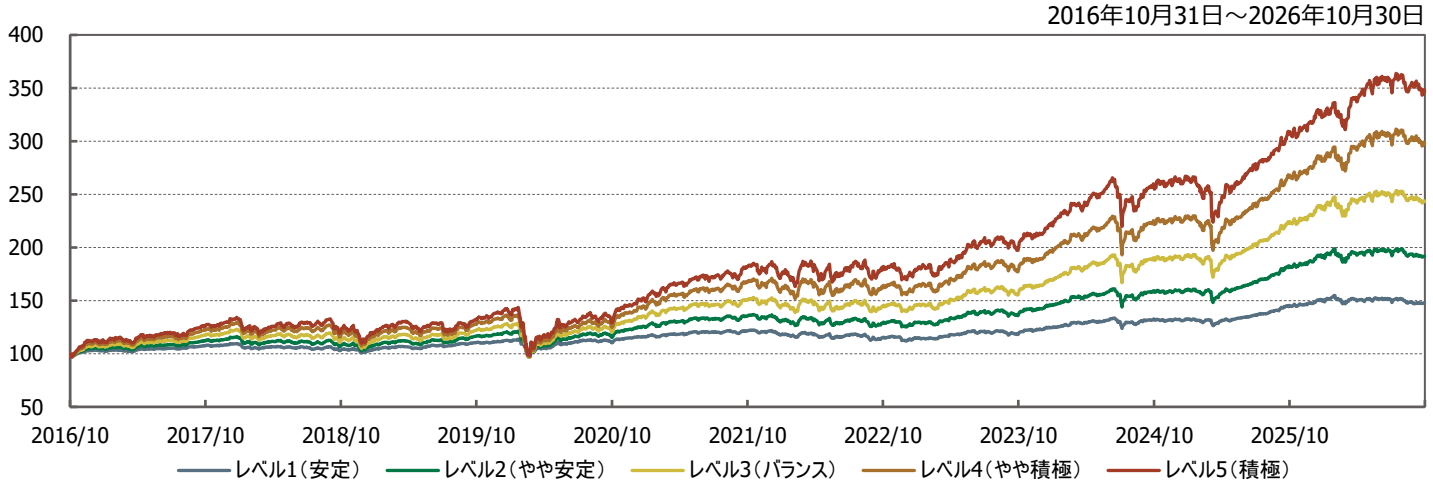
※各マザーファンドの資産クラスを表示しています。
※（H）は、為替ヘッジありを指します。オルタナティブ資産は、ゴールドインデックス（為替ヘッジなし）マザーファンドを指します。
※詳細については、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

≪ご参考≫各ファンドの価格変動の特性（直近10年間のシミュレーションと運用実績）　2016年10月31日～2026年10月30日

	レベル1（安定）	レベル2（やや安定）	レベル3（バランス）	レベル4（やや積極）	レベル5（積極）
期間リターン	+48.0%	+91.8%	+143.3%	+197.8%	+246.8%
年率リターン	+4.0%	+6.7%	+9.3%	+11.5%	+13.3%
年率リスク	5.5%	7.9%	10.2%	12.6%	14.6%

2016年10月31日～2026年10月30日



※グラフの起点時を100として指数化しています。　（出所）ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

※各ファンドの設定日（2026年4月30日）以前は、モデルポートフォリオのシミュレーションにより算出したデータを使用し、運用管理費用（信託報酬）に相当する額は控除しています。シミュレーションは参考のために掲載したものであり、各ファンドの運用成果とは異なります。

※各ファンドの設定日（2026年4月30日）以降のデータは、分配金再投資基準価額を使用しています。

※年率リターンは、期間リターンを年率換算して算出しています。年率リスクは、日次騰落率の標準偏差を年率換算して算出しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

※過去のシミュレーションおよび実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

各マザーファンドの期間別騰落率　2026年10月30日現在

資産クラス		マザーファンド	1カ月間	3カ月間	6カ月間
株式	国内株式	トピックス・インデックス・マザーファンド	-3.5%	-0.1%	+7.5%
	先進国株式	外国株式インデックスマザーファンド	+0.9%	+0.6%	+6.0%
	先進国株式（為替ヘッジあり）	外国株式インデックス為替ヘッジ型マザーファンド	+0.5%	+2.4%	+7.1%
	新興国株式	新興国株式インデックス・マザーファンド	-6.6%	-2.9%	-1.8%
債券	国内債券	ダイワ日本債券インデックスマザーファンド（BPI）	+1.8%	+0.5%	-0.6%
	先進国債券	外国債券インデックスマザーファンド	+1.4%	-3.0%	-3.0%
	先進国債券（為替ヘッジあり）	外国債券インデックス（為替ヘッジあり）マザーファンド	+1.3%	-0.9%	-1.3%
	投資適格社債（為替ヘッジあり）	米ドル建て投資適格社債インデックス（為替ヘッジあり）マザーファンド	+1.6%	-1.2%	-2.4%
	ハイ・イールド債券（為替ヘッジあり）	米ドル建てハイ・イールド債券インデックス（為替ヘッジあり）マザーファンド	+0.6%	-1.5%	-1.5%
	新興国債券（為替ヘッジあり）	米ドル建て新興国債券インデックス（為替ヘッジあり）マザーファンド	+1.2%	-2.1%	-2.8%
オルタナティブ	国内リート	ダイワJ－REITマザーファンド	-3.1%	-9.8%	-10.1%
	外国リート	ダイワ・グローバルREITインデックス・マザーファンド	+2.4%	-8.1%	-1.3%
	外国リート（為替ヘッジあり）	先進国リート・インデックス（為替ヘッジあり）マザーファンド	+2.1%	-6.6%	-0.6%
	オルタナティブ資産	ゴールドインデックス（為替ヘッジなし）マザーファンド	-3.6%	-4.2%	-13.3%

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※各マザーファンドの詳細については、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

【市況概況】

（国内株式）

国内株は下落しました。AI・半導体銘柄を中心に上昇して始まりましたが、月半ばに米コアウィーブの信用不安が表面化し、AI・半導体関連株を中心に下落しました。その後もAI投資の持続性に対する懸念が燻る中、同関連銘柄の株価は一進一退の展開となったほか、景気減速への警戒感から景気敏感株にも売りが広がり、月末にかけて軟調に推移しました。

（外国株式）

欧米株式市場は上昇しました。米国株は月前半に堅調に推移しましたが、月半ば以降は信用不安の表面化を受け、AI・半導体関連株を中心に一進一退となりました。一方、ディフェンシブ株の底堅さが相場を下支えしました。欧州株はエネルギー価格や金利の高止まりが重しとなったものの、好調な企業業績を背景に月末にかけて上昇しました。新興国株式市場は、原油高や米国の追加利上げ観測、中東情勢の緊迫化、AI投資の採算性への懸念などから下落しました。

（国内債券）

国内債券市場では、金利は低下しました。AIへの過剰投資懸念により投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、国内金利は低下しました。

（外国債券）

海外債券市場では、金利は低下しました。AI（人工知能）関連ビジネスの資金繰り懸念やフランスの政治不安などを背景にリスク回避姿勢が強まり、安全資産とされる米国債が買われました。その他の国の金利も、一部を除きおおむね米国につれて低下しました。米ドル建て社債はスプレッドが拡大したものの、国債金利の低下により社債金利は低下しました。米国ハイイールド債や新興国債券では、企業の債務負担への懸念や投資家心理の悪化などからスプレッドが拡大しました。

（内外リート）

国内株式が下落する中、J-REIT市場も軟調に推移しました。オフィスや賃貸住宅、都市型商業施設などでは賃料増額が確認された一方、市場低迷下では各銘柄の資本政策に対する姿勢が投資口価格を左右する展開となりました。日銀による保有ETFの処分動向が注目される中、J-REITについては処分ペースに大きな変化はみられませんでした。海外REIT市場は、景気の先行きに対する警戒感が重しとなった一方、リスク回避姿勢の強まりを背景とする金利低下や、総じて堅調な米国REITの決算が支えとなり、反発しました。

（金）

金先物価格は下落しました。月前半は、9月米雇用統計の発表による大きな変動はなく、米長期金利や米ドルの動きに左右され、横ばい圏での推移となりました。月後半は、原油高と株安に伴う景気の先行き懸念から債券への資金シフトが起き、金需要が後退したことなども影響して、大幅に下落する場面がありました。

（為替）

為替市場では、米ドル円はほぼ横ばいとなりました。AI関連ビジネスの資金繰り懸念やフランスの政治不安を背景としたリスク回避姿勢の強まりが円高要因となった一方、原油価格の上昇に伴う日本の貿易収支悪化への懸念が円安要因となり、方向感に欠ける展開となりました。ユーロは、フランスの政治・財政への警戒感やECBによる政策金利の据え置きなどが上値を抑え、対円で下落しました。新興国通貨は、各国の政治・経済情勢や商品価格への感応度の違いから、対円でまちまちな動きとなりました。

【運用状況】

レベル1（安定）

ファンドの基準価額は、前月末比で約30円上昇しました。資産別の寄与では、プラス寄与の代表例として、日本債券が約46円、先進国債券（H）が約20円となり、基準価額の上昇に大きく貢献しました。一方、マイナス寄与の代表例としては、新興国株式が約25円、日本株式が約22円のマイナス寄与となり、基準価額の押し下げ要因となりました。

レベル2（やや安定）

ファンドの基準価額は、前月末比で約41円下落しました。資産別の寄与では、プラス寄与の代表例として、先進国株式が約17円、日本債券が約14円となり、基準価額の下支え要因となりました。一方、マイナス寄与の代表例としては、日本株式が約42円、新興国株式が約37円のマイナス寄与となり、基準価額の押し下げ要因となりました。

レベル3（バランス）

ファンドの基準価額は、前月末比で約109円下落しました。資産別の寄与では、プラス寄与の代表例として、先進国株式が約25円、外国リートが約14円となり、基準価額の下支え要因となりました。一方、マイナス寄与の代表例としては、日本株式が約69円、新興国株式が約64円のマイナス寄与となり、基準価額の押し下げ要因となりました。

レベル4（やや積極）

ファンドの基準価額は、前月末比で約129円下落しました。資産別の寄与では、プラス寄与の代表例として、先進国株式が約38円、外国リートが約15円となり、基準価額の下支え要因となりました。一方、マイナス寄与の代表例としては、日本株式が約77円、新興国株式が約75円のマイナス寄与となり、基準価額の押し下げ要因となりました。

レベル5（積極）

ファンドの基準価額は、前月末比で約146円下落しました。資産別の寄与では、プラス寄与の代表例として、先進国株式が約53円、外国リートが約17円となり、基準価額の下支え要因となりました。一方、マイナス寄与の代表例としては、新興国株式が約118円、日本株式が約70円のマイナス寄与となり、基準価額の押し下げ要因となりました。

「当ファンド」という場合、各ファンドを総称して、またはそれぞれを指していうものとします。
各ファンドの総称を「BEST GOALS専用ポートフォリオ」とします。
「BEST GOALS専用ポートフォリオ・レベル1（安定）」、「BEST GOALS専用ポートフォリオ・レベル2（やや安定）」、「BEST GOALS専用ポートフォリオ・レベル3（バランス）」、「BEST GOALS専用ポートフォリオ・レベル4（やや積極）」、「BEST GOALS専用ポートフォリオ・レベル5（積極）」を、それぞれ「レベル1（安定）」、「レベル2（やや安定）」、「レベル3（バランス）」、「レベル4（やや積極）」、「レベル5（積極）」という場合があります。

≪ファンドの目的・特色≫

ファンドの目的

・世界の株式、世界の債券、世界のリートおよびオルタナティブ資産に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

・当ファンドは、大和アセットマネジメント株式会社が提供する投資一任運用サービス「BEST GOALS（ベスト ゴールズ）」の専用ファンドです。

●「BEST GOALS（ベスト ゴールズ）」とは、お客さまと大和アセットマネジメント株式会社との間で締結される投資一任契約に基づき、アドバイザーである提携金融機関を通じて、お客さまの将来の目標（ゴール）の実現に向けて、資産運用プランの策定および継続的なアフターフォローを行なうサービスです。

・世界の株式、世界の債券、世界のリートおよびオルタナティブ資産＊に投資します。

＊株式、債券、リート等を除く非伝統的資産をいいます。

・「レベル 1（安定）」、「レベル 2（やや安定）」、「レベル 3（バランス）」、「レベル 4（やや積極）」、「レベル 5（積極）」の 5 つのファンドがあります。

・各マザーファンドの組入比率は、アセットアロケーション戦略＊に基づき決定し、適宜変更します。

＊各マザーファンドの組入資産の期待リターン、リスクおよび各資産間の相関等を推定し、最適な資産配分をめざす戦略です。外貨建資産については、対円での為替ヘッジの有無を含めて、期待リターン等を推定します。

・毎年 11 月 30 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

≪投資リスク≫

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

価格変動リスク・信用リスク	組入資産の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 ●株価の変動 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。 新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。 ●公社債の価格変動 公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体が債務不履行を発生させた場合、またはその可能性が予想される場合には、公社債の価格は下落します。 ハイ・イールド債や新興国債券等の格付けの低い債券については、格付けの高い債券に比べてこうしたリスクがより高いものになると想定されます。 ●リートの価格変動 リートの価格は、不動産市況の変動、リートの収益や財務内容の変動、リートに関する法制度の変更等の影響を受けます。 新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。 ●オルタナティブ資産の価格変動 オルタナティブ資産の価格は、当該資産の市況の変動、当該資産に関する法制度の変更等の影響を受けます。 オルタナティブ資産は、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。
為替変動リスク	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがありま

	す。 特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。 当ファンドでは、保有実質外貨建資産については、アセットアロケーション戦略に応じて為替ヘッジ比率を変更しますので、為替ヘッジを行なう場合も為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、日本円の金利が組入外貨建資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。 新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

≪ファンドの費用≫

投資者が直接的に負担する費用

	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社はありません。	—
信託財産留保額	ありません。	—

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)

運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して下記赤字部分の率を乗じて得た額とします。
運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。

ファンド名	料率等	配分(税抜)(注1)				
		委託会社		提携金融機関	販売会社	受託会社
		運用報酬	投資一任報酬	投資一任報酬		
レベル1(安定)	年率1.793%(税抜1.63%)	年率0.10%	年率0.70%	年率0.70%	年率0.10%	年率0.03%
レベル2(やや安定) レベル3(バランス) レベル4(やや積極) レベル5(積極)	年率1.848%(税抜1.68%)	年率0.15%	年率0.70%	年率0.70%	年率0.10%	年率0.03%

支払先	費用の内容	
委託会社	運用報酬	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
	投資一任報酬	投資一任契約に基づく契約資産の運用、四半期ごとの運用報告等の対価です。
提携金融機関	投資一任報酬	投資一任契約の締結の媒介、資産運用プランの策定、ゴールの実現に向けた継続的なアフターフォロー等の対価です。
販売会社	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。	
受託会社	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。	

	料率等	費用の内容
その他の費用・手数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。
(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)および毎計算期末または信託終了時に行なわれます。
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、ETF(上場投資信託証券)および上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

≪お申込みメモ≫

購入単位	最低単位を 1 円単位または 1 口単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万口当たり）
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を 1 口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1 万口当たり）
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して 5 営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	① ニューヨーク証券取引所またはニューヨークの銀行の休業日 ② ①のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 （注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
申込締切時間	原則として、午後 3 時 30 分まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの） なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受付けを中止すること、すでに受付けた購入、換金の申込みを取消すことがあります。
繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）できます。 ・受益権の口数が 30 億口を下ることとなった場合 ・信託財産の純資産総額が 30 億円を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
収益分配	年 1 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に NISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISA の「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

≪当資料のお取り扱いにおけるご注意≫

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▸ 大和アセットマネジメント　フリーダイヤル　0120-106212（営業日の 9:00～17:00）

当社ホームページ

▸ https://www.daiwa-am.co.jp/

取扱い販売会社

2026年10月30日　現在

BEST GOALS専用ポートフォリオ・レベル1（安定）
BEST GOALS専用ポートフォリオ・レベル2（やや安定）
BEST GOALS専用ポートフォリオ・レベル3（バランス）
BEST GOALS専用ポートフォリオ・レベル4（やや積極）
BEST GOALS専用ポートフォリオ・レベル5（積極）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社北九州銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第117号	○		○	
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第12号	○		○	
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第6号	○		○	

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。